

要請番号 (JL05420A22)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G157 日本語教育	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

人的資源開発省

2) 配属機関名（日本語）

バナラス・ヒンドゥー大学 文学部外国語学科

3) 任地（ウッタル・プラデシュ州バラナシ） JICA事務所の所在地（デリー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+車で約4.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

BHUは、1916年設立の国立大学で、広大な敷地に、6つの研究機関と17の学部があり、およそ30,000名の学生が在籍している。ボランティアが配属される文学部外国語学科では、日本語のほかに中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語などの学科がある。全ての言語で、公開講座があり、学士の課程があるのは日本語、学士の課程から修士、博士課程まであるのは、中国語とロシア語である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、インド国内で日本語主専攻をもつ8大学のうちのひとつ。1990年より公開講座(Certificate Diploma、2年間)が開始され、2016年から学部教育(3年間、主専攻と選択の2つ)が開始されている。現在、公開講座は110名、学部は全50名程度が所属している。現在は、若手のインド人准教授2名で学科を運営しているが、日本語教育の分野では、まだ経験が浅いため、学生向けの授業や教員向けの支援に加え、日本の文化や習慣など幅広く教えることの出来るJICA海外協力隊が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 学部生と公開講座の学生向けの日本語授業(かな、漢字、文法、会話、作文)を担当する。(1週間およそ15時間)
2. 日本語・日本文化への理解を深めるための課外活動・イベント等を行う。
3. 現地人教師の日本語力・日本語教授力向上に向けたサポートを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

『日本語初步』、『初級日本語』、『中級日本語』、『どんなときどう使うシリーズ(アルク)』、『エリンが挑戦日本語できます』DVD、他

4) 配属先同僚及び活動対象者

【同僚】

准教授、男性、30代、修士

准教授、女性、30代、修士

【学生】

公開講座(Certificate Diploma)(2学年あわせて100名)
学部生(主専攻、副専攻、3学年あわせて50名)

5) 活動使用言語

ヒンディー語

6) 生活使用言語

ヒンディー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（日本語教育に関する資格）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒） 備考：当国の教員採用事情による

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実践に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（10~40°C位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水源]：（安定）

【特記事項】

住居は配属先提供の学内の教員寮を予定。

【類似職種】